

あいさつ運動

- 登校時に生徒会執行部と規律実行委員会が生徒昇降口に立ち、あいさつ運動を実施することで生徒たちの間にさわやかな空気が流れるように取り組んでいる。
- 生徒会が主体となり、登校時のあいさつ運動を学期ごとに展開し、ハイタッチや一言添えてどの子どもともあいさつをする取組を行った。

討議等

- 生徒会主催で「いじめ防止・絆デー」と題して、生徒集会を開いた。1年生が小学6年生と交流した内容を発表し、その後「いじめ」について5～6人組を作り、ゲーム形式でいじめについて討論会を行った。白熱した意見が出されとても良い集会となった。また、最後には会長がいじめ防止対策推進法を紹介し、いじめをしないように促した。
- 8月に紀北地区で行われた「紀北町いじめ防止に係る中学生意見交流会」への参加後、中学校独自の「私たちの行動宣言」を生徒会本部役員が作成し、生徒会を開き、全校生徒に提案した。宣言文の提案を受け、生徒一人ひとりがいじめを防ぐためにどのように考え、何をしなければならないのかなどについて話し合いを行った。

人権にかかわる活動

- 1学期に行った全校人権学習で、全校生徒が縦割りのグループに分かれて討議を行った。生徒が中心となって主体的に人権問題（いじめ等）について話し合いを進めるとともに、その内容を模造紙にまとめ、全校人権集会（全大会）でポスターセッションを行った。
- 人権フォーラムにおいて、人権クラブ制作の外国人と人権にかかわる映画を鑑賞し、ヘイトスピーチなどの差別的発言やいじめ等について話し合い、意見の交流を行った。

ピンクシャツ運動にかかわる活動

- 2年生の生徒全員がピンクの物を身につけて「いじめ反対」の意思を示しながら、地域の清掃を行う取組を実施した。



SNS等にかかわる活動

- 生活委員会が、生徒会で策定したSNSの使い方のルールについて取り組む期間を設けた。
- 生徒会が中心となり、SNS等でのトラブルについてのアンケートを全校に行い、集計・分析を行った。それを全校集会で全校生徒に発表するなど、いじめ防止につながる啓蒙活動を実施した。
- 生徒会役員がリーダー研修会に参加して、いじめやいじめにかかわるスマートフォンの利用の仕方について意見交流した。その後、学校内で生徒会が中心となって、スマートフォンやメディア端末の計画的な利用を促す活動を行った。



スローガン・標語

- 生徒会本部役員が、生徒会通信で、全校生徒に対していじめ防止のスローガン作成を呼びかけた。全校生徒によるスローガン作成を受け、生徒会本部役員が、いじめ防止の今年のスローガンを選出し、この後、生徒会通信、ポスターで選出したスローガンを発表した。
- 生徒会が呼びかけ、「いじめ防止標語」に全校生徒で取り組み、冊子にして全校生徒に配付した。また、優秀標語を選出し、文化祭において、保護者、地域の方、教育関係者に配布した。
- 生徒議会でいじめについて話し合い、いじめ防止五箇条を作成した。また、ポスターを作成し、各教室において、発表・掲示した。

その他

- 生徒会による企画運営により、全校集会で「仲間づくり」としてグループワークトレーニングを行った。
- 生徒会本部が中心となって、いじめ防止を全校に呼びかけた。また、生徒玄関に、目安箱を設置し、いじめ防止に対する意見を募ったり、「子どもの人権SOSミニレター」について紹介した。
- 生徒会役員が各学級を回り、いじめ問題を含めて今の学校の現状をどのように考え、今後どんな学校にしたいか、そのために自分はどのようにしていくかについて、アンケートを実施した。そして、そのアンケートから集約された意見を全校集会で発表するとともに、全校で取組んでいくことを訴えた。
- 生徒会と生徒指導部が企画し、県立高等学校演劇部による「インターネットトラブルシュー」公演を地元教育施設で開催し、全校生徒で学ぶ機会を持った。
- 全校生徒の交流を深めるため、縦割りチームで行う球技大会を生徒会主催で企画・運営した。